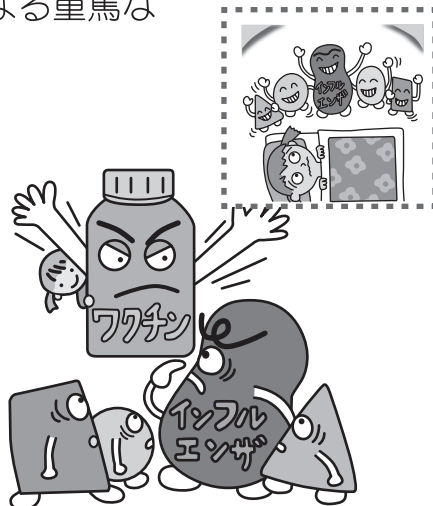


インフルエンザワクチンの接種を希望される方へ

1. インフルエンザワクチンはインフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防するためのワクチンです。
2. インフルエンザに対してワクチンで、重症化を予防することがインフルエンザに対抗する最高の手段です。
3. 特に高齢者や基礎疾患（心臓・肺・腎臓などの病気）がある方は重症化しやすいので、ワクチン接種をお奨めします。
4. なお、インフルエンザワクチンでは、「かぜ」や「肺炎」を予防することはできません。
5. 強い卵アレルギーがある場合は、接種を避けるか注意して接種する必要があります。
6. ワクチン接種の効果（免疫）ができるまでに約2週間かかります。
7. インフルエンザワクチンは毎年、流行シーズン前（秋から初冬にかけて）の接種となります。
8. 13歳未満（小学校6年生まで）の方で、2回接種される方は効果面から4週間隔が望まれます。
9. インフルエンザワクチンを他のワクチンと同時に接種することは可能です。ただし、その場合には医師に相談して、確認を取るようして下さい。
10. 自宅で体温を測定して下さい。



<インフルエンザワクチンを受けた後の注意点>

1. 接種後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合があります。
2. ワクチン接種後に、注射部位の腫れ、痛み、ときに軽い熱がみられることがあります。日常生活に差し支えるほどのものではありません。1～2日で消失します。
3. 当日、入浴できますが、注射部位をゴシゴシこすることはやめましょう。

医療法人鉄蕉会 亀田京橋クリニック